

武内県議 9月議会で一般質問



●傍聴に参加いただいた方の声

- 「やはり体験が大事だ。傍聴に来てみて県政が身近になった。」
 - 「いっしょに参加した人同士で、本音の話ができてよかった。」
 - 「質問した太陽光発電等について、同乗の町議から話を聞いた。」
 - 「公約の道路の話が進んでいない。早く手がけてほしい。」
 - 「議会で知事にも会いたかった。」
- ・・・など

今議会の10月3日、武内県議が一般質問(10月3日)のため登壇し、地方創生の取組や毛呂山町、越生町、鳩山町をはじめとする地域の課題を中心に、県執行部に取組を質問しました。地元から約160人の方が、議会傍聴に訪れました。

質問項目

- 1 地方創生の実現に向けて
- 2 農山村への移住促進の取組について
- 3 高齢運転者の増加への対応について
- 4 県立高校の特色化と「教育環境整備基金」について
- 5 県有施設の跡地利用の促進について



【武内】 県有施設の跡地利用のうち、未だ活用方策が決まっていない旧毛呂山高校の跡地の現状と今後の見通しはどうか？

【教育長】 毛呂山町が近隣の市町とともに「地域活動センター」として活用するため、具体策を検討していると聞いている。県としては、町と十分協議を行い有効な活用方法を検討したい。



▲旧毛呂山高校跡地(毛呂山町)

7 安全面から見た街路樹等の在り方について

6 太陽光発電施設設置の規制強化について

【武内】 太陽光発電設備が、県内各地の山林地域や農地に無秩序に設置されている。県民の安全を守るために、県で独自のガイドラインを定めるべきと考えるがどうか？

【環境部長】 標準的なモデルを早急に策定したい。(11月中に策定することとなりました。)



▲太陽光パネル設置工事現場(越生町)

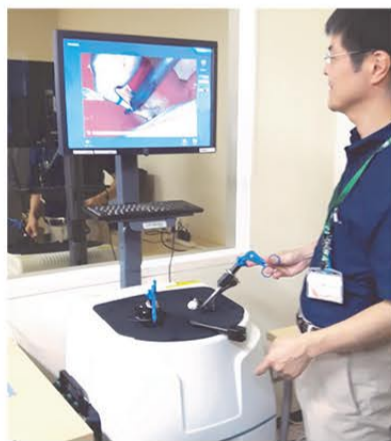
武内まさふみの活動日誌

視察

■福祉保健医療委員会(武内県議:副委員長)の視察

地域医療体制、少子化対策などを学ぶ (8月2~4日 沖縄県)

- おきなわクリニカルシミュレーションセンター(医師や医療従事者に対し、実際の医療現場を想定した模擬研修を行う機関)



- 沖縄県立中部病院(全国的に臨床研修希望者の多い病院)ほか2か所

■人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会の視察

人材育成の特徴的な取り組みを学ぶ (8月17~19日 広島県、兵庫県、大阪府)

- 兵庫県立高砂高等学校(全国優勝に輝くジャズバンド部)



- 神戸製鋼所ラグビー部<サッカー練習風景>



- 大阪大学オープンイノベーション教育研究センター<シミュレーションロボット>



■新彩会(県議会自民党議員団2期)の視察(9月2日)

サービス付高齢者向け住宅「ディーフェスタ東大宮」
介護職員による生活サポート、身体の介護、身体の機能回復など、介護付き有料老人ホームと同様のサービスを提供する住宅。今年8月1日にオープンしました。



式典への列席

■瀬戸大也選手 水泳競技パブリックビューイング

(8月7日、10日)
リオデジャネイロ・オリンピック水泳400m個人メドレーで銅メダルを獲得した瀬戸大也選手のパブリックビューイングが2日間開催されました。



■町民報告会(10月16日)

町民報告会が開催され瀬戸選手に毛呂山町特別栄誉賞が授与されました。同日、出雲伊波比神社において、瀬戸選手が流鏝馬の馬に乗って、矢を射るイベントが行われました。



■障がい者スポーツの祭典「ふれあいピック」

(9月25日)

福祉保健医療委員会副委員長として、熊谷スポーツ・文化公園で開催されたふれあいピックに出席しました。熊谷市出身、リオ・パラリンピックの陸上競技に出場した高桑早生選手も応援に駆けつけてくれました。



■県立小児医療センター・日赤新病院完成記念式典(10月15日)

さいたま新都心に完成した小児医療センターは、日赤病院と密接に連携する小児医療の総合医療機関として、新たにスタートします。一般診療は平成29年1月から始まります。

